

2016年第3回 IEEE Japan Council 理事会 議事録 (案)

日時：2016年12月2日(金) 14:00～17:30

場所：機械振興会館 6階 6-65

出席者：青山 Chair、雁部 Vice Chair、原崎 Secretary、藤代 Treasurer、
土橋(代理)、中沢、半田、萩本、西宮、古橋、山内、種谷、丹治(代理)、
田村(代理)、中島(代理)、藤島(代理)、中里、桑原、持田、小山、高村、白川、
杉江、津田、尾上、南、橋本、西原(敬称略、順不同)

オブザーバ：眞田、大越、滝嶋、百武、梶川(敬称略、順不同)

事務局：加藤 幹事会社：柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料(1)
2. 2017-2018年理事会・委員会メンバー【審議】 資料(2)
3. 2016年 Japan Council 活動報告 資料(3)
4. 2016年 Japan Council 決算予想 資料(4)
5. 常設委員会 2016年活動報告、2017年活動計画案および予算案 資料(5)
 - 5-1 Chapter Operations Committee
 - 5-2 Student Activities Committee
 - 5-3 Award Committee
 - 5-4 Industry Promotion Committee
6. Ad-Hoc 委員会 2016年活動報告、2017年活動計画案および予算案 資料(6)
 - 6-1 Long Range Strategy Committee
 - 6-2 History Committee
7. 各支部 2016年活動報告、2017年活動計画案および予算案 資料(7)
8. Affinity Group 2016年活動報告、2017年活動計画案および予算案 資料(8)
 - 8-1 Women in Engineering
9. 2017年 Japan Council 活動計画【審議】 資料(9)
10. 2017年 Japan Council 予算【審議】 資料(10)
11. その他 資料(11)
 - 11-1 R10 Meet2017 準備状況報告
 - 11-2 R10 設立50周年・旧東京支部設立60周年記念イベント
準備状況報告【審議】

議事：

0. 青山 Chair ご挨拶

年末に全国各地からの参加に対して謝辞が述べられた。本年度最後の理事会であり、来年度の事業計画および予算審議は特に重要である。活発な議論をお願いする。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】

資料（1）

原崎 Secretary より前回理事会（2016年7月開催）の議事録案について説明がなされ、異議無く承認された。

2. 2017-2018年理事会・委員会メンバー【審議】

資料（2）

原崎 Secretary より前回理事会以降に選出された理事についての説明がなされ異議無く承認された。

3. 2016年 Japan Council 活動報告

資料（3）

原崎 Secretary より 2016年の活動報告がなされた。IEEE Constitutional Amendment および西原理事が立候補された R10 Director-Elect への投票については各支部の多大なる協力もあり西原理事はめでたく当選された。

4. 2016年 Japan Council 決算予想

資料（4-1、4-2）

藤代 Treasurer より報告がなされ、2016年度末の決算予想が説明された。

5. 常設委員会 2016年活動報告、2017年活動計画案および予算案

5-1 Chapter Operations Committee

資料（5-1、別紙1~3）

杉山 Chair の代理として藤島 Vice Chair（次期 COC Chair）から報告がなされた。JC COC Meeting の開催報告、Chapter 支援費の申請状況等が説明された。来年度については本年同額の予算申請をお願いする。

5-2 Student Activities Committee

資料（5-2）

中里 SAC Chair より報告がなされた。Student Branch（SB）については福井大学・琉球大学が加わり日本国内の SB 数は 29 校となった。来年度も基本的には本年度の活動を継続する計画である。

5-3 Awards Committee

資料（5-3-1、5-3-2）

桑原 Chair より報告がなされた。本年度より JC AC 新体制を発足させ、各支部委員および本部委員のアップデートを実施中である。来年度の活動については、現在の活動範囲に加え Fellow 推進についての活動を計画する。2017年度の Awards 受賞者について

ては Technical Field Awards に日本から西谷隆夫氏（首都大学東京）の受賞が紹介された。

5-4 Industry Promotion Committee

資料（5-4）

持田 Chair より報告がなされた。本年度は IEEE Standards Association の Corporate Advisory Group の Workshop、関西支部主催 MAW や WIE イベント等への協力を行った。来年度は名古屋支部主催の MAW2017 をはじめとした各種イベントへの支援を計画する。

6. Ad-Hoc 委員会 2016 年活動報告、2017 年活動計画案および予算案

6-1 Long Range Strategy Committee

資料（6-1）

雁部 Chair より報告がなされた。2015-2016 年度は JC 理事会への若手登用や JC 機能に関する再検討などを行った。特に本年度は支部アンケート調査を実施し、回答結果を踏まえた改善策をまとめ来年度以降の JC 活動への提言を行った。また次期 LRSC 委員会への継続検討希望事項が述べられた。

6-2 History Committee

資料（6-2-1、6-2-2）

白川 Chair より報告がなされた。2017-2018 年度もマイルストーンに対する支援展開のため Adhoc Committee として活動継続を希望する。また HISTELCON2017 開催準備も進めている。

7. 各支部 2016 年活動報告、2017 年活動計画案および予算案

7-1 札幌支部

資料（7-1）

土橋 Secretary より報告がなされた。来年度の活動についてもほぼ例年通り総会、理事会、事業開催を計画する。学生向け活動費の増額については、盾を増額して作成することを検討している。

7-2 仙台支部

資料（7-2）

中沢 Chair より報告がなされた。マイルストーンについては「垂直磁気記録」に加え「自己補対アンテナ」の申請も検討を開始した。来年度も基本的には本年度活動に沿った活動を行う計画である。なお仙台支部 WIE の設立を準備中であることが述べられた。

7-3 信越支部

資料（7-3）

半田 Chair より報告がなされた。来年度も基本的には本年度活動に沿って役員会や事業開催を進める計画である。若手支援として IEEE Young Researcher Paper Award や学生国際会議参加支援を継続実施し、学生会員の増員を目指す。

7-4 東京支部

資料 (7-4)

杉江理事（萩本東京支部 Chair 代理）より報告がなされた。来年度は3月に開催される R10 Meet 2017 および R10 設立 50 周年/旧東京支部 60 周年記念イベント開催に協力する。

7-5 名古屋支部

資料 (7-5)

古橋 Chair より報告がなされた。本年度は名古屋支部 YP が設立された。名古屋支部 LMAG 設立に向けて、LMAG 準会員制度等の準備を進めた。来年度の最大の計画は MAW2017 であり、中京大学での開催を予定している。別紙にて現段階でのプログラム案が配布され紹介が行われた。

7-6 関西支部

資料 (7-6)

山内 Chair より挨拶があり、種谷 Vice Chair より報告がなされた。本年度は関西支部主催の MAW2016 に 300 名近い参加があり成功を収めた。「蹴上発電所」の Milestone 授賞式が開催された。来年度は SB の新設を目指す。また HISTELCON2017 は神戸での開催であるため関西支部としても支援を行う。

7-7 四国支部

資料 (7-7)

丹治 Secretary より報告がなされた。学生支援として英語ブラッシュアップセミナーを開催しており英語発表件数促進の成果がでている。来年度も講演会や学生活動支援等、本年度活動に沿った活動を計画している。

7-8 広島支部

資料 (7-8)

田村 Secretary より報告がなされた。本年度活動については例年通り総会、理事会、講演会を開催した。IEEE 広島支部学生シンポジウム (HISS) においては昨年に引き続き高校生 Session や英語プレゼンテーションの場を設けて学生支援を行った。来年度についても本年度に沿った活動を計画している。

7-9 福岡支部

資料 (7-9)

中島 福岡支部 MDC Chair より報告がなされた。本年度は新たに琉球大学に Student Branch が設立された。MD 関連では本部より 2016 Outstanding Section Membership Recruitment and Retention Performance の表彰を受けた。来年度についても本年度に沿った活動を計画している。

8. Affinity Group 2016 年活動報告、2017 年活動計画案および予算案 資料 (8)
8-1 Women in Engineering Affinity Group

橋本理事 (矢野 WIE Chair 代理) より報告がなされた。本年度は新たに Japan SYWL Workshop を開催し他支部 Affinity Group や SB との交流を行った。来年度は 3 月開催の R10 設立 50 周年/旧東京支部 60 周年記念イベントにてワークショップを計画する。またシドニー開催の Sections Congress2017 へ WIE から参加を計画する。

9. 2017 年 Japan Council 活動計画【審議】 資料 (9)

原崎 Secretary より 2017 年度の活動計画案が説明された。Ad-hoc 委員会の継続、本部・R10 との連携強化等について計画案が述べられた。支部との連携強化および活動支援としては LRSC 委員会より提案された Coordinator の設置を行う。2017 年活動計画について異議無く承認された。

10. 2017 年 Japan Council 予算【審議】 資料 (10)

藤代 Treasurer より、2017 年度の予算案について説明がなされ承認された。

11. その他

11-1 R10 Meet2017 準備状況報告 資料 (11-1)

IEEE Japan Office 百武氏から来年 3 月 4 日～5 日開催の R10 Meet2017 準備状況が報告された。幕張メッセとの交渉状況や参加受け付けの手配状況、IEEE President 等の参加表明状況、が説明された。

11-2 R10 設立 50 周年・旧東京支部設立 60 周年記念イベント準備状況報告【審議】

資料 (11-2)

杉江 実行委員会 Secretary より 3 月 3 日の記念イベントについて実行委員会設立後の活動経緯、現在の開催案が説明された。

【審議事項】杉江 実行委員会 Secretary より記念イベント予算案について説明がなされ、異議無く承認された。

引き続き杉江 実行委員会 Secretary より各支部へ参加等の協力依頼が説明された。

以上

【補足】

理事会終了後には機械振興会館 倶楽部にて懇親会が開催された。